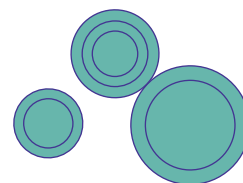
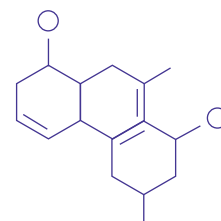


なぜ米国の農家は GMO作物を 栽培するのか？



現在栽培されているGMO作物のほとんどは、農家が作物や食品の損失を防ぎ、雑草を防除するのを助けるために開発されたものです。

GMO作物でもっとも一般的な特性は以下の3つです。

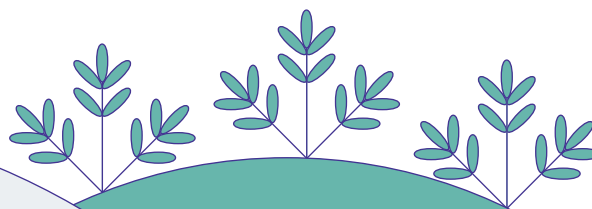
- 特定の害虫に対する抵抗性
- 雑草防除に用いられる特定の除草剤に対する耐性
- 特定の植物ウイルスに対する抵抗性

GMO作物の栽培では農薬散布量を減らすことができます。このことは農家にとって費用の節約になり、また、最終的に作物に残留する農薬量も減らすことができます。

除草剤耐性のある作物を栽培すると、雑草防除のために土を耕す必要性が減ります。不耕起栽培は土壌の健全性を高め、土壌浸食を抑え、燃料や労力を節約し、大気中への二酸化炭素排出量を削減するのに役立ちます。

ウイルス抵抗性作物の栽培も、持続可能で安全な食料供給を生み出すとともに、農家の家計の安定性を高める助けとなります。

研究¹では、GMO作物の栽培は経済的にも環境的にもプラスの影響をもたらすことが示されています。



GMOに関する詳細は
www.fda.gov/feedyourmind をご覧ください。



出典:

¹<https://pgeconomics.co.uk/press+releases/21/New+published+research+paper+-+Environmental+impacts+of+genetically+modified+%28GM%29+Crop+use+1996-2016%3A+Impacts+on+pesticide+use+and+carbon+emissions>

2020年9月 - 2

当該資料は英語原文をバイテク情報普及会が翻訳したものですので、あくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英語原文を参照していただくようお願いいたします。（<https://www.fda.gov/media/142249/download>）なお、和訳版と原文との間で内容に齟齬があった場合には、原文が正しいものとします。